



あなたの「困った！」を お助けします！（当別町共生型ボランティア）

町では、高齢や障がい、子育てなどで起こりうる生活上のさまざまな問題を幅広く受け止め、関係機関と連携して支援を行う取り組みを進めています。その一つとして、当別町

共生型ボランティア（有償ボランティア）活動があり、大きく3つの取り組みを行っています。どのような取り組みが行われているのか、利用者の声を交えてお知らせします。

当別町共生型ボランティア（有償ボランティア）の3つの活動

① 地域生活サポーター

〔当別町共生型福祉ターミナル（社会福祉法人ゆうゆう）〕

☎ 25-5137

介護保険制度や障害者総合支援法などの公的サービスに該当しないちょっとした生活の困りごとをサポートするボランティアです。

- 利用料金：30分 250円
- 有償ボランティア報酬
活動30分につき報酬250円
+活動支援ポイント150円分

〔サポート活動の例〕

お散歩の付き添い、お話相手、一緒に食事を食べる、電球の取り換え、調理・洗濯・掃除のお手伝いなど

※相談内容に合わせて対応いたします。

【利用の流れ】

利用者が地域福祉ターミナルに利用を申込み

地域福祉ターミナルがサポーターと日程等の調整をする

サービスを受けた後、利用者はサポーターにサービスの報酬として利用料金を支払う

サポーターはターミナルに報告書を提出し、活動支援ポイントを受け取る

有償ボランティアポイントカード

注目！



地域生活サポーター、買い物御用聞きサポーターは活動に応じて活動支援ポイントを受け取ります。500ポイント貯めると当別町共通商品券500円分を発行します。

日付	種別	時間	ポイント	計
/	御用 地域			
/	御用 地域			
/	御用 地域			

【地域生活サポーター利用者の声】

10年ほど前から足を悪くして、外出の時には車いすが手放せなくなりました。夫は体の調子が悪く、同居している長男は仕事があるため、地域生活サポーター制度を活用するようになりました。車を使っての移動は、タクシーや有償運送サービスを利用しますが、玄

関から車までの移動や病院・店舗内での移動をサポートしてもらっています。毎回、同じ方が来てくれるので、安心してサービスを受けられます。普段、家に閉じこもりがちなので、月に1・2回サポーターさんと外に出て、お話をすることが楽しみです。



金谷千枝子さん（79歳）

【地域生活サポーターの声】

退職後、ボランティア養成講座を受け、ボランティア登録をしてからの6年間で、障がいのある方のJR通勤の支援や高齢者の家庭菜園のお手伝いと見守りなど多くの経験をさせていただきました。今は足が不自由な方のゴミ出しや灯油の補充などをサポートさせていただいています。この方に

は2人体制で対応しており、互いに無理がかからるようにシフトを組んで行っています。1回にかかる時間は1時間弱、ゴミ出しだけなら10分程度で終わることもありますが、地域の方と話ができて、有意義な時間を過ごせているので、自分の身体が動く間は続けたいと思っています。



鈴木 将仁さん (69歳)

② 買い物御用聞きサポーター

〔当別町ボランティアセンター（社会福祉法人当別町社会福祉協議会）〕

☎ 22-0400

ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯等に對し、日常生活に欠かせない食品・日用品等の購入についてボランティアが聞き取り、注文を受けた商店が品物を配達する仕組みです。

- 利用料金：専門職の審査により利用が必要とされた方 無料
上記以外の方 1回 200円
- 有償ボランティア報酬
活動15分につき
活動支援ポイント125円分

【利用の流れ】

利用者が当別町ボランティアセンターに利用登録を申込む

サポーターはボランティアセンターからの連絡を受け、利用者の指定日に訪問し注文書を作成する（利用者の見守りや傾聴も行います）

サービスを受けた後、利用者はサポーターに利用料金を支払う（利用料金が必要な方のみ）

作成した注文書をサポーターがボランティアセンターに提出し、活動支援ポイントを受け取る

注文書をもとにボランティアセンターが提携している町内の商店に商品を発注

利用者が指定した日または注文の翌日に商品が届き、商品の代金はその時に支払う

〔傾聴：話をただ聞くのではなく、言葉以外の行動に注意を払って、耳を傾けること。〕

サポーターの必需品



サポーターが持ち歩くオレンジのカバンと商品カタログ・注文書等



買い物御用聞き用に配備された車両



利用者と話をしながら商品の注文を受けている様子

【買い物御用聞きサポーター利用者の声】



城戸ハルエさん (85 歳)

今年の1月からサービスを利用しています。それまでは、家から300mくらいしか離れていないお店でも手押し車を押し、途中で休みながら行っていたのでとても大変でした。買い物御用聞きサポーター制度は自宅で、商品カタログを見て注文ができ、翌日には

届けてくれるので、とっても便利で助かっています。健康のためには外に出ることも必要なので、暖かくなればできるだけ自分で買い物に行きますが、自分の身体と相談しながら、このサービスも利用させていただければ、ありがたいです。

【買い物御用聞きサポーターの声】



川原 隆子さん (68 歳)

ボランティア活動を始めて4年ほどになりますが、配食サービスのほかにファミリーサポートでお子さんのお世話をしてきました。買い物御用聞きサポーターとしてはこれまで3回程度です。利用者さんからは提携しているお店が古くから知っているところな

ので、安心して購入できると聞いています。お買い物を目的としたサービスですが、人との会話を楽しみにしている方が多いので利用者さんの好きなことや興味があることを見つけて、話しやすい環境をつくり、満足していただけるような活動を心がけていきます。

③ ファミリーサポート協力会員

〔当別町ファミリー・サポートセンター（社会福祉法人ゆうゆう）〕

☎ 22-2886

一時的に子育ての援助を必要としている家庭をボランティアがサポートする仕組みです。

- 利用料金：平日 30分 250円
土日・祝祭日・平日の時間外
30分 300円
- 有償ボランティア報酬
活動30分につき報酬250円

〔サポート活動の例〕

保育施設までの送迎、「軽度の病気」・「妊産婦家庭」の児童の世話など、0歳児～小学6年生までを対象とした活動。

活動の場所は協力会員または利用者の自宅、地域福祉ターミナルのいずれかで行います。

【利用の流れ】

利用者は会員登録をし、サポートセンターに利用を申し込む

センターが協力会員を選定し、利用者は該当協力会員と日時・場所など事前に打ち合わせをする。

サービスを受けた後利用者は、協力会員にサービスの報酬として、利用料金を支払う

協力会員はサポートセンターに報告書を提出する



地域福祉ターミナルで児童をお世話している様子

当別町共生型ボランティア養成講座を開催しています

町では今年度より、住民のちょっとした困りごとを地域の人々が支え合う「当別町共生型ボランティア（有償ボランティア）」を養成し、その活動を支援しています。

平成29年度より町が主催し始まったこの養成講座は、高齢、障がい、子育て支援に関する知

識を身につける座学と、車椅子の使い方や応急措置などを学ぶ実習があり、全9コマの講座となっています。春、秋の2回の講座により、約50名の方が認定されました。

平成30年度の講座開催については、改めて「広報とうべつ」でもお知らせします。



第1回のボランティア養成講座の様子

生活の中での困ったことや心配なことは、
地域包括支援センターへご相談ください。

ゆとろ内にある地域包括支援センターでは「福祉総合相談」として、住民の皆さんの日常生活での困りごとや心配ごとについて、幅広く相談をお受けしています。相談の内容に応じ、さまざまな分野の関係機関と連携して公的サービスだけでなく有償ボランティア事業などを組み合わせたご提案も可能です。

センターでは、利用手続きに関するお手伝いも行っていますので、お困りの際、ご利用をお考えの際は、気軽にご相談ください。

【お問合せ先】

当別町地域包括支援センター
(当別町総合保健福祉センターゆとろ内)
電話 25 - 5152



【事業全般に関するお問合せ先】

共生型ボランティア事業に関すること

当別町福祉部介護課介護支援係
電話 23-3029

ファミリーサポートの事業に関すること

当別町教育委員会
子ども未来課子育てサポート係
電話 25-2658